

にじのとしょかん主催 「音楽劇映画」 上映会

# 「生命誌版 セロ弾きのゴーシュ」



大震災 3.11 の後「セロ弾きのゴーシュ」を読み直したところ、水車小屋に戻ったゴーシュが必ず水を飲むのは、乾いた人工社会から湿った自然へ入る儀式に見えました。乾いた社会が苦手なゴーシュは自然の中でカッコウなど小さな生きものに学び、人びとの心を動かす演奏家になります。これぞ生命誌の世界と思い、チェコを中心に世界中で活躍する人形劇師・沢則行氏と共同で創った舞台です。20周年の催しで初演をご観くださった皇后様の「大勢の子どもたちに」とのお言葉に励まされての再演です。子どもたち(元子どもたちも)が宮沢賢治の求めた「ほんとうの賢さ」「ほんとうの幸せ」に気づいてくれることを願っています。 生命誌研究館



自然の一部である生きものとしての生きよう。「生命誌」はこう考えて小さな生きものの物語りに耳を傾けています。ふと気づくと前を歩いていたのが宮沢賢治です。ゴーシュは乾いた現代社会では生きにくいのです。水車小屋に戻り、水をゴクゴク飲んで湿った生命の世界に入り、ネコ、カッコウ、タヌキ、ネズミに教えられます。セロも上手になり思いやりも持ったゴーシュの演奏は乾いた世界の人々の心を動かします。生命誌も同じように皆を動かしたいと願っています。

JT 生命誌研究館  
館長 中村桂子

日時：2019年7月13日(土)

午前の部 11時~11時50分 (開場 10時30分)

午後の部 2時~2時50分 (開場 1時30分)

場所：和泉市立人権文化センター  
(ゆう・ゆうプラザ) 4階 視聴覚室

定員：各30人 (保育なし)

申込：6月11日(火) 午前10時から にじのとしょかん  
カウンター、または電話にて受け付けます。

<問い合わせ>

和泉市立人権文化センター図書室(にじのとしょかん)  
和泉市伯太町六丁目1番20号 Tel&Fax 0725-47-1040

